

様式第 2 号

視察研修先	北海道富良野市議会	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	ふらの版 DMO による地域密着型観光の推進について		
<p>概要</p> <p>平成 6 年に 1 市 4 町 1 村による富良野・美瑛広域観光推進協議会を設立し、関係団体と連携し取り組んでいる。さらに、29 年に一般社団法人ふらの観光協会が地域連携 DMO に登録申請し翌 30 年 6 月に認定。</p> <p>運営拠点は「コンシェルジュフラノ」でふらの観光まちづくり戦略会議を富良野商工会議所・(一社)ふらの観光協会・富良野市商工観光課・ふらのまちづくり株式会社・(株)富良野物産観光公社が構成員である。</p> <p>財源として、市 50 万円、観光協会 30 万円、会議所 30 万円、まち 15 万円、物産公社 15 万円の負担金となっている。</p> <p>事業として、満足度調査、マーケティング検討調査、人材づくり(動画制作)フォーラム開催経費などのソフト事業実施。</p> <p>感想・所見</p> <p>人口 21,000 人の小さな街に観光客年間 200 万人が訪れていることに驚いた。空きビルを取得し「ふらのまちづくり株式会社」がふらの観光まちづくり戦略会議の構成員であることで様々な利活用を提案していることに感銘した。</p> <p>事業内容からも、大手企業並みの「情報・調査・人材づくり」を実施され検討されているからこそ現在に至っていることを実感した。</p> <p>本市においても、優秀な人材がおり今後物産協会を中心に活発な活動を展開し期待しているところであります。微力ながら一翼になればと思います。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	北海道富良野市議会	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	民間を主軸にした官民協働による複合的中心市街地活性化事業について		
<p>概要</p> <p>平成 19 年に北海道社会事業協会富良野病院の移転に伴い、空き地・未利用地が大量発生し、富良野中心市街地活性化の基本方針が策定された。</p> <p>富良野市中心市街地活性化協議会構成員 富良野商工会議所・ふらのまちづくり株式会社・富良野商店街連絡協議会・新相生商店街振興組合・富良野五条商店街振興組合・ふらの農業協同組合・北海道中小企業同友会旭川支部富良野地区会・富良野金融協会の 9 団体となっている。 ふらのまちづくり株式会社を中活事業の推進母体に位置づけされた。</p> <p>会社の資本金は 1,035 万円から 8,350 万円となっており、会議所会員を中心に 64 の企業・団体・個人が出資し、市からは 100 万円とし増資しは求めず経営責任は商工会議所役員体制で運営されている。 病院跡地を活用した「フラノ・マルシェ」事業が展開されている。</p> <p>感想・所見</p> <p>中心市街地に観光客の取り込み拠点をつくり来街者を増やし、「まちなか観光」の情報機能を充実させ、商店街と連携をはかりながら街中回遊を促進し歩行者数の増加を目指すことを目的とした。中心市街全体の活性化につなげるため、多くの誤解や先入観を解消し、意図するところや実現性をしっかり伝えるには、様々な組織や会合に自ら出向き、粘り強く説得をしていくことが王道なのだと自ら鼓舞、市、議会、商店街、商工会議所、中小企業家同友会、農協、物産公社、建設協会、飲食店組合、地権者にプレゼンテーションを実施され「プロジェクト委員会」を設置し、フラノ・コンシェルジュ整備事業(国の補助金で地域未来投資促進事業補助金)が立ち上げたことに感銘した。</p> <p>これまでにないコンセプトには、「官」「民」との意識改革と使命感や正義感を持ち「まちづくり」に取り組んだリーダーがいたことが大きな成果と結果としてあらわれている。</p> <p>本市においても、熱い情熱とヤル気のあるベテラン・若者を盛り上げて寒河江市中心市街の活性化を目指したい。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	北海道上川郡美瑛町議会	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	廃校を活かした取り組みについて		
<p>概要</p> <p>廃校になった小学校の校舎及び敷地を利用して宿泊体験研修施設やレストラン等を整備し、農業・料理・観光をテーマとした体験研修や、小麦を中心に地元食材を使った料理の提供により、都市と農村交流、地元農産物の販路拡大、観光客入込数の増加を目指し、農山村活性化プロジェクト支援交付金を活用し総事業費 4 億円(二分の一補助)の整備を実施し、平成 26 年に「美瑛町北瑛小麦の丘体験交流施設」として運営開始された。</p> <p>施設管理：体験研修施設(体育館・天文台・地域交流施設・宿泊施設・研修室等) 宿泊施設 地域食材提供施設(レストラン・パン工房) 展望台・グラウンド(今年度より小麦栽培)</p> <p>支援団体：北瑛行政区・美瑛商工会・JA びえい・美瑛町観光協会・丘のまちびえい活性化協会・美瑛町農業振興機構【事務局】・(株)北瑛プロジェクト【事務局】</p> <p>感想・所見</p> <p>視察地において飲食施設(レストラン)で、食材の説明と調理法を聞きながら加工施設(パン工房)で作られたパンから始まり美味しく堪能できました。研修のおりシェフより地元農産物やメニュー等をお聞きして、尚も驚いた。北海道洞爺湖地域で開催された G8 サミットにおいてシェフを務めた経歴をもつ人物でもありました。廃校周辺は民家等なく静かな草原地域の中に、次々と訪れる観光客は食事を目当てに来ることを目的とした観光地となっており、料理体験や食文化の伝道師として、かつ農業体験や都市と農村の交流が構築されておりました。</p> <p>本市においても、「学びの里 T A S S H O」があり今後期待されているところではあります。宿泊には食事が重要であり、山形では「奥田シェフ」がおり地元農産物を使った料理講習会等を学びの里 T A S S H O で検討すること提案したいものであります。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	北海道千歳市議会	氏名	佐藤 耕 治
視察研修項目	千歳市防災学習交流施設「そなえーる」について		
<p>概要</p> <p>施設は 3 階建て延べ面積 2,300 m²の防災学習交流施設『そなえーる』は災害を「学ぶ」「体験する」「備える」をテーマに、災害の模擬体験や防災学習を通じて、防災に対する意識を高めてもらうことを目的に、起震装置、煙避難装置、予防実験装置、避難器具などを備えた施設です。</p> <p>感想・所見</p> <p>起震装置、煙避難装置、予防実験装置、避難器具などを体験させていただきました。特に起震装置では、阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震等の中で、地震発生から、直ぐに急激な上下左右の揺れが大きかったのは熊本地震であり、何かにつかまっていなければ立ってられない状況でありました。</p> <p>もしも、寒河江市に発生したと考えただけで頭の中が真っ白になりそうです。施設に訪問しなくとも起震装置車があり、防災訓練時に利用すべきと考えます。</p> <p>災害時に備える 「身近なもので防災グッズ」 「電池活用による簡易ランタンの作り方」 「100 均で準備できる防災グッズ」 「非常持出袋」など。</p> <p>本市の危機管理室から、各自主防災組織講座を開催し学習すべきと考えます。</p> <p>家庭用コンセントプラグのほこりによる火災実験(定期的にはこりを取ることに) 特に、冷蔵庫のプラグは常時入れておくことで掃除が必要との説明もありました。</p> <p>さらに、災害時に備え自衛隊や消防、警察との連携が必要であり、特に自衛隊との要請等は必要不可欠であり、日常的にも数多くの交流と信頼関係を構築したいものであります。</p> <p>備えあれば憂いなしです。</p> <p>保存食・地下水・発電機・乾電池・モバイルバッテリー・カセットコンロ・ストーブ・プロパンガス・ガソリン・灯油など。</p>			